

平成30年度北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
委員会		第1回 5/24							第2回 12/17			第3回 3/19
委員による 意見交換会					別海地区	岩見沢市北 村豊正地区	七飯地区 →11/12 →10/10	→11/12 →11/13			厚床地区	上ノ国地区
指導員 関連事業	Web版 里づくり (毎月)	第1回 幹事会 (札幌) 5/23		情報誌 里づくり 17号 7/26 道東7ヵ所 7/24~25	道北7ヵ所 8/1~2	地域づく り研修会 (札幌) 9/11 延期 全国研修 (東京) 9/13 ~14	現地研修 (道央) 10/23 ~24	道南7ヵ所 11/12 ~13			第2回幹事 会&指導員 会&地域づ くり研修会 (札幌) 2/13 情報誌 里づくり 18号 2/26	
その他									農水省ふる 水基金全国 担当者会議 12/18			

平成30年度北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業実績

1 地域活動支援事業

- (1) 実践活動地区（5地区）
別海町別海地区、七飯町七飯地区、岩見沢市北村豊正地区、根室市厚床地区、
上ノ国町上ノ国地区
- (2) 住民意識醸成地区（1地区）
由仁町由仁地区

2 研修事業

- (1) 北海道ふるさと・水と土指導員 56名（平成31年3月現在）新規2名委嘱

- (2) ふるさと水と土基金全国研修会 4名（うち指導員3名）

- ・日程：平成30年9月13日（木）～14日（金）
 - ・場所：東京都渋谷区代々木 国立オリンピック記念青少年総合センター
 - ・内容：講演「プロモーションに頼らない！無名の地域をブランド化する方法
『まちいくふじかわ』本菱の事例から」 深澤 氏
「地域資源のブランド化と販路開拓」 黒川 氏
「女性パワーで！「大地の恵み・人・思い」を活かした商品開発！」山口 氏
- 活動紹介
「住民との交流を通じてふるさとの魅力を発信」
茨城県城里町 盛田 氏
「楽山人塾＝駿大版ダッシュ村 in 飯能市上名栗」
埼玉県飯能市 平井 氏

- (3) 地域づくり研修会（指導員会と兼ねる） 80名（うち指導員26名）

- ・日程：平成31年2月13日（水）
- ・場所：ANA クラウンプラザホテル24階 白楊の間
- ・内容：基調講演 株式会社 studioL 山崎 亮 氏
パネルディスカッション
コーディネーター 株式会社 studioL 山崎 亮 氏
パネリスト 山形県ふる水指導員 鈴木 正 氏
山形県ふる水指導員 田中 俊昭 氏
北海道ふる水指導員 田中 いずみ 氏

- (4) 現地研修22名（うち指導員15名）

- ・日程：平成30年10月23日（火）～24日（水）
- ・場所：石狩市、岩見沢市、栗山町、夕張市
- ・内容：講演、現地視察 NPO 法人 ezorock 代表理事 草野 竹史 氏
プロジェクトコーディネーター 大熊 啓介 氏
現地視察 北の大地マルシェ 対応：小西指導員
講演 菅野牧園 菅野 義樹 氏、金丸指導員
講演 夕張市役所 佐藤主幹

- (6) 北海道ふるさと・水と土指導員会幹事会

- ・日程：平成30年5月23日（火）、平成31年2月13日（水）
- ・場所：農政部第一中会議室
- ・内容：「里づくり」、ブロック別ミーティング、地域づくり研修会の企画 他

- (7) ブロック別ミーティング

- ① 道東ブロック 平成30年7月24～25日 弟子屈町、鶴居村 24名（うち指導員15名）
- ② 道北ブロック 平成30年8月1～2日 中頓別町、豊富町、稚内市 18名（うち指導員9名）
- ③ 道央ブロック 現地研修と兼ねる
- ④ 道南ブロック 平成30年11月12～13日 七飯町、森町 18名（うち指導員9名）

(8) 情報誌「里づくり」の発行 2回(8月、2月)

(9) web版「里づくり」の配信 毎月

3 推進事業

(1) 委員会の開催 3回(5月24日、12月17日、3月19日)

(2) 委員会と活動地区の意見交換

別海地区(10/10)、七飯地区(11/12)、岩見沢市北村豊正地区(未定)、
厚床地区(未定)、上ノ国地区(11/13)

(3) ホームページの更新

① 指導員プロフィール

② 事業紹介、委員会記録及び活動実績等の情報

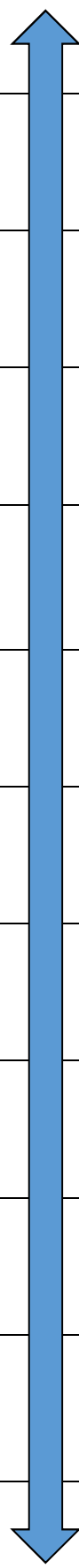
(4) 啓発普及

「新・田舎人」(96~99号)の配布

平成31年度事業計画（案）について

平成31年度北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業スケジュール（案）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
委員会		第1回							第2回			第3回
委員による意見交換会		厚床地区 由仁地区						上ノ国地区				
指導員 関連事業	Web版 里づくり (毎月)	第1回 幹事会 (札幌)		情報誌 里づくり 19号 現地研修 (道東) 7月下旬	道北ブロッ ク 8/1~2	道南ブロッ ク 9/9~ 全国研修 (東京) 9/12 ~13	道央ブロッ ク 10/21 ~			情報誌 里づくり 20号 第2回幹事会(札 幌) 指導員会 1月下旬~2月下旬		
H32-36 計画策定												
その他				農水省ふる 水基金全国 担当者会議								



平成31年度北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業計画(案)

1 地域活動支援事業

- (1) 実践活動地区（3地区、括弧は年次）
根室市厚床地区（2）、上ノ国町上ノ国地区（2）、由仁町由仁地区（1）
- (2) 住民意識醸成地区

2 研修事業

- (1) 指導員の委嘱
- (2) 全国研修（9月12～13日東京都）
- (3) 地域づくり研修会（1～2月札幌市）
- (4) 現地研修（道東 7月下旬）
- (5) 北海道ふるさと・水と土指導員会（1～2月）
- (6) 北海道ふるさと・水と土指導員会幹事会（5月、1～2月）
- (7) 指導員ブロック別ミーティング（4ブロック）
 - ① 道東ブロック 現地研修と兼ねる
 - ② 道北ブロック 8月 上川管内
 - ③ 道央ブロック 10月 胆振管内
 - ④ 道南ブロック 9月 檜山管内
- (8) 情報誌「里づくり」の発行 2回（7月、2月）
- (9) web版「里づくり」の配信 毎月

3 推進事業

- (1) 委員会の開催 3回（5月、12月、3月）
- (2) 活動地区との意見交換
- (3) ホームページの更新
 - ① 指導員プロフィール
 - ② 事業紹介、委員会記録及び活動実績等の情報
- (4) 啓発普及
「新・田舎人」（100～103号）の配布

地域活動支援事業

平成30年度事業実績・平成31年度事業計画(案)

について

活動の評価・検証結果

項目	内容	
事業実施年度	平成30年度	
総合振興局等名	根室振興局	
活動地区名	厚床地区	
活動団体名	厚床地域農村再生プロジェクト プロジェクトチーム	
活動成果における当初・変更計画との比較	当初・変更	実績
	① ワークショップ ② 防災キャンプ ③ 交流会 ④ フットパスコース整備	① 地域活性化や地域づくりの専門家を講師に招き、今後の地域の姿を考える勉強会を4回開催した。 ② 防災知識の習得及び地域内の多世代間交流の促進を目的に開催し、総数62名(2歳～83歳)が参加した。 ③ 農協主催の組合員パークゴルフ大会に地域住民も参加した。 ④ 胆振東部地震発生後が実施予定日だったため、本年度は中止とした。
活動の課題	地域づくりを促進するため、より多くの地域住民が参加できるイベント等の実施 活動内容のPR	
次年度の活動方向 (活動の改善点等)	① ワークショップ 地域活性化や地域づくりの専門家を講師に招き、今後の地域の姿を考える勉強会を開催する。 ② 防災キャンプ 防災知識の習得及び多世代間交流の促進を目的に開催する。 ③ 交流会 地域間交流の促進を目的に開催する。 ④ フットパスコース整備 コース整備を通じて、地域資源の再認識及び地域間交流の促進を目的に実施する。 ⑤ 自然学習会 バードウォッチング等を通じて、地域資源の再認識及び多世代間交流の促進を目的に実施する。	
活動状況写真 (別添可)	別添のとおり	
総合振興局等から見た活動地区及び活動団体の状況	防災キャンプでは、根室市の退避所に指定された施設で宿泊体験を実施し、活動メンバーを中心に準備・運営を行うことができました。防災をテーマとした体験活動や市街地散策を行い、参加者からも多くの好意的な感想をもらい、今後の活動にむけて貴重な活動となりました。 今後は、より多くの地域住民が参加できるイベント等の実施やPR活動が必要と考えます。	

活動状況写真

①ワークショップ



②防災キャンプ



防災講座



新聞紙食器作り



衛星携帯電話実演



夕食準備



釜戸炊飯



夕食



防災紙芝居



段ボールベッド



段ボールベッド



自由時間



自由時間



集合写真



朝食準備



市街地散策



市街地散策(神社)



市街地散策(転車台跡)



市街地散策(フットパス)

活動計画

団体名		チームNKB		市町村名		別海町		地区名		別海地区			
めざす姿		～ハーブのネットワークづくり～ 町内の酪農女性、特に道外出身の方は酪農業や家事に追われ、積極的な仲間づくりが進んでいない。また、町内の地域資源は乳製品に偏っており、農家個々が高付加価値商品を開発するには至っていない。このことから、新たな地域資源として、ハーブをテーマとした取り組みをすすめ、オール別海の女性の輪づくりを並行させながら、地域の活性化の糸口とする											
活動の方向	No.	活動の内容		目標(数値、定性)		解決すべき課題							
	①	酪農女性の仲間づくり 道外出身の活動の場とすることを視野に入れながら、酪農業を営む女性の活動母体(ネットワーク)づくりを進める		・定期的な交流会の開催(年2回)		・普段交流のない酪農女性の参加促進 ・魅力ある活動を継続することにより定期的な交流会の開催							
	②	○ネットワークの拡大 酪農女性を中心とした活動母体に、町内外の他団体(女性中心の団体)を想定)を巻き込んでいく		・3年目には他団体との連携		・町内外の女性ネットワークの構築							
	③	○ハーブなど新たな地域資源の発掘 寒冷地であり限られた地域資源に、新たな要素を生み出すよう、まずは冷涼地帯に適しているハーブを中心に、新たな地域資源を発掘していく		・各農家でハーブ栽培の普及		・栽培技術及び加工技術の習得							
④	○別海の魅力発信 上記①～③の活動について、町内外を問わず広く発信していく		・PRパンフレット作成		・取組みの認知 ・参加者の拡大								
関連事項	No.	平成28年度		平成29年度		平成30年度		年度目標		最終目標		適用事業	
3年間の活動プロセス	①	先進地視察	100千円	1回(鶴居村)	先進地視察	35千円	1回(北見市)						
	②												
	③	ハーブ・ガーデン(苗・肥料・ネット)	34千円	メイン1ヶ所	ハーブ・ガーデン(苗・肥料・資材)	31千円	メイン1ヶ所	ハーブ・キッチン(調理加工体験)	21千円	1回/年	1回/年		
	④	ハーブ・キッチン(加工技術研修)	24千円	1回(別海町)	ハーブ・キッチン(調理加工体験)	25千円	1回/年						
情報発信	①④	農業士会での試供品配布		1回/年	農業士会での試供品配布		1回/年						
	②④												
	②④												
関係者等		別海町女性農業士会		事務局:別海町産業振興部農政課									
		別海酪農女性のつどい		事務局:別海町産業振興部農政課									

地域活動支援事業に係る予算要求書

事業実施年度	平成30年度			
総合振興局等名	根室振興局			
活動地区名	別海地区	活動団体名	チームNKB	
目的(ねらい)	項目(費用)	内容	金額(円)	積算根拠
親子イベント		ネットワーク作りの一環として、親子参加型イベントの開催。(1回)	(132,383)	
(石鹸作り講習会)	使用料及び賃借 需用費 役務費 報償費 旅費 需用費	▶会場使用料 ▶材料費 ▶ゴミ袋 ▶講師謝金(2時間*14,000円*2 ▶講師旅費(旭川~別海 2泊3日、町内) ▶材料費(練習用)	0 20,000 600 56,000 49,141 6,642	公民館 会社社長級 2人分
		小計	132,383	
(調理加工体験)	使用料及び賃借 需用費 役務費	▶会場使用料 ▶材料費 ▶ゴミ袋		加工体験施設
		小計	0	
ハーブ・キッチン	使用料及び賃借 需用費 役務費	▶会場使用料 ▶材料費 ▶ゴミ袋	5,076 16,242 0	加工体験施設
		小計	21,318	
ハーブ・ガーデン	需用費 需用費	▶苗 ▶園芸資材	20,250 3,024	苗 7種類75株 肥料、資材など
		小計	23,274	
PRパンフレット	需用費	▶印刷代	60,000	A4四つ折り@1000部
		小計	60,000	
合計			236,975	
費目内訳			56,000 49,141 126,158 600 0 5,076	報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 使用料及び賃借料
			236,975	

活動計画

(新)

団体名		七飯町の食を考える会		市町村名		七飯町		地区名		七飯			
めざす姿		<p>◇子どもから大人まで「ななえ食」を学ぶ (七飯町は西洋農業発達の地であり農作物(大根・人参等根菜類及び長ネギ)の収穫も、道南では上位を占め、又緑豊かな森と湖の大沼地域は酪農(肉牛)や水産、まさしく食の宝庫である。)</p> <p>・未来を担う子ども達及び地域住民に、「ななえ食」を再認識してもらい、産地見学・学習体験等を通して、ふるさとである七飯町に愛着を持つ環境を整える。</p> <p>・「ななえ食」を活用した産地見学会(収穫体験)や料理の開発、加工品等により七飯町の魅力を町内外に発信する。</p>											
活動の内容		<p>◇「ななえ食」の地域資源に関する取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食材(農林水産物の再発見！) ・地域住民と生産者(地域講師)の交流・勉強会 <p>◇「ななえ食」の体験塾(仮称)「美味しいななえ探検隊」(食育・調理加工・木育等)に関する取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども参加型(地域モデル校:軍川小学校) ・地域住民参加型 <p>◇活動内容の地域への周知及び理解の促進</p>											
活動の方向		<p>①</p> <p>②</p> <p>③</p>											
目標(数値・定性)		<p>・地域活動勉強会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者(地元講師)の学習会の開催 <p>・産地見学会・体験学習会及び加工工場見学会の開催</p> <p>・会のメンバー増員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアスタッフ増加 											
解決すべき課題		<p>・子どもから大人まで「ななえ食」の歴史を知り食を知る企画(促進)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内全体での地域講師の発掘。 ・異世代交流方法(地域講師と子ども達) <p>・提供者、ボランティアなど運営問題、指導整備が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他校での取組みをする学校等の増加 ・地域内での産地見学会場の選定 											
関係事項		平成28年度		平成29年度		平成30年度		年度目標		最終目標		適用事業	
①		内容	地域活動勉強会	内容	地域活動勉強会	内容	地域活動勉強会	内容	地域活動勉強会	内容	地域活動勉強会	内容	地域活動勉強会
②		内容	「ななえ食」子ども産地見学(2回/1ヶ所) (4回/3ヶ所)	内容	「ななえ食」子ども一汁三菜(ご飯、汁物)体験(和食)	内容	「ななえ食」子ども工場見学(4回/3ヶ所) (産地見学会と合同)	内容	「ななえ食」子ども体験塾(仮称)	内容	「ななえ食」子ども体験塾(仮称)	内容	「ななえ食」子ども体験塾(仮称)
③		内容	「七飯の食を考える会」エブリオン作成	内容	「ななえ食」のレシピ作成	内容	「ななえ食」のレシピ及び会の活動紹介パンフレット作成	内容	「ななえ食」のレシピ及び会の活動紹介パンフレット作成	内容	「ななえ食」のレシピ及び会の活動紹介パンフレット作成	内容	「ななえ食」のレシピ及び会の活動紹介パンフレット作成
3年間の活動プロセス		内容	地域活動勉強会	内容	地域活動勉強会	内容	地域活動勉強会	内容	地域活動勉強会	内容	地域活動勉強会	内容	地域活動勉強会
関係者等		<p>代表 田中 いずみ、対馬 明子、種畑 智佐子、山田 あゆみ、吉田 静子、宮後 英子、藤吉 愛、和泉 詩織、牧野 成美</p> <p>農林水産課 TEL 0138-65-2511 FAX 0138-66-2054</p> <p>七飯町立軍川小学校 TEL 0138-67-2333 FAX 0138-67-3591</p>											
*「ななえ食」とは、七飯町で生産・加工されたすべての食材(農林畜水産物)													

地域活動支援事業に係る予算要求書(案)

H30.11.30

事業実施年度	平成30年度				
総合振興局等名	渡島総合振興局				
活動地区名	七飯	活動団体名	七飯の食を考える会		
目的(ねらい)	項目(費用)	内容	変更後(円)	当初(円)	積算根拠
勉強会 「食育・食材を思う」 及び「ななえ食:歴史」(メンバーに対する意識醸成)	(報償費)		27,500		講師 11,000円×2.5H
	(旅費)		0	0	ブロック会議連携で農村設計課支出
	(需用費)		11,396		活動内容説明資料等
	(使用料)		0	0	(町施設公用使用)
		小計	38,896	0	
「ななえ食」 地域産地見学会 子供工場見学会 (1回/3箇所程度) 胆振東部地震停電 の影響で直前に中止	(使用料)	地域勉強会 ・小学生	0	50,000	バス借上げ 50,000円×1回
	(需用費)		10,741	10,000	雑機材等10,000円×1回
					※バスは教育委員会バスを無料借用に変更
		小計	10,741	60,000	
「ななえ食」食育活動 取りまとめ本作成 1,000部 カラー=20P	(委託料)	ななえ食の活動を 地域住民に広報活動	0	1,000,000	デザイン・イラスト含む
		小計	0	1,000,000	
「ななえ食」のパネル 作成 A1～15部	(委託料)	ななえ食レシピ及 び会の活動紹介	0	450,000	デザイン・イラスト含む
		小計	0	450,000	
「ななえ食」食育活動 HP作成	(委託料)	ななえ食の活動を 地域住民に広報	295,380		デザイン・イラスト等
	(需用費)		33,885		広報資料関係機材
		小計	329,265	0	
親子調理体験学習 大豆加工勉強会と 併せて親子で七飯 食の調理体験	(報償費)	調理体験と 豆腐加工講習4H	56,000	56,000	評論家 14,000円×4H
	(旅費)			0	地元講師
	(需用費)		35,098	65,000	親子調理体験食材等
	(使用料)			0	(町施設公用使用)
		小計	91,098	121,000	
合計			470,000	1,631,000	
費目内訳			83,500	56,000	報償費
			0	0	旅費
			91,120	75,000	需用費
			295,380	1,450,000	役務費 委託料
			0	50,000	使用料及び賃借料
			470,000	1,631,000	

活動計画

団体名	豊正FAM協議会		市町村名	岩見沢市		地区名	岩見沢市北村豊正	
めざす姿	<p>～人が訪れる地域づくりを通して、老後も元気に暮らす～ 近年、高齢化に伴う離農や店舗の撤退などで過疎化が進んでいる中、生産者組織「北の大地マルシェ」(空き店舗を活用した直売事業と落花生の加工事業を推進)を設立し、他地域から多くの人に訪れてもらえることで地域の活性化を図る。 また、「北の大地マルシェ」事業と並行し、徒前から実施している交流事業(フットパスイベントや落花生まつり)の一層の充実を図り、更なる北村豊正ファンを獲得し、他地域や都市との交流、異業種交流、福祉団体との連携など複合的な活動を進めていく。</p>							
	NO	活動の内容	目標(数値・定性)	解決すべき課題				
	①	北の大地マルシェ直売事業 ・6月上旬から11月上旬まで、JA空き店舗を借用した直売所運営 ・地域住民が集う場所としてのカフェの開催	<p><初年度> 来場者 期間中900人(予定) 売上 年間750千円(予定) <29以降> 前年度比10%増</p>	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な直売所運営が図れるよう経営ノウハウの習得 都市部に対するPRの実施等、効果的な販促活動 構成員の積極的な参加と出荷者の増加による品揃えの確保 カフェメニューの開発 				
	②	北の大地マルシェ加工事業 ・「塩ゆで落花生」加工販売 ・地場農産物を活かした加工品の研究	<p><塩ゆで落花生加工販売> 加工品の品質の均一化 <加工品の研究> 加工品の開発 1品</p>	<p><塩ゆで落花生加工販売> 加工技術の習得、向上と委託加工受入体制の確立 <加工品の研究> 加工技術の習得、向上 加工品開発に係るパッケージデザイン等の情報収集</p>				
	③	交流事業 ～ フットパス交流会・落花生まつりイベント ・7月上旬にフットパス交流会、10月上旬に落花生まつりのイベントを開催し、地場農産物の料理を楽しみながら生産者と消費者や異業種と交流や福祉団体との連携を図る。 ・活動を集落全体に波及させ、多くの住民参加を促す。	<p>運営方法等の具体的な取組手法の定着及び集落の様々な層の住民の参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> 参加対象を広げたいが参加者の参加しやすい体制が整備されていない。(バス確保等) 継続した活動につなげたい。 集落の維持・活性化に向けた効果を発揮させたい。 				
3年間の活動プロセス	関連NO	平成28年度 内容	平成29年度 内容	平成30年度 内容	最終目標	適用事業		
北の大地マルシェ直売事業	①	先進地へのバス視察研修	先進地へのバス視察研修	先進地へのバス視察研修	地域の直売所として活動の安定を図る			
	②	販売促進に係る資料(エプロン・のぼり等)費	販売促進に係る資料(のぼり等)費	販売促進に係る資料(のぼり等)費				
	③	マルシェPRポスター・チラシ作成	マルシェPRポスター・チラシ作成	マルシェPRポスター・チラシ作成				
	④	加工販売に係るマーケティング研修	加工・地場農産物を用いた料理講習会	販売実技実習				
	⑤	加工技術向上に係る研修	販売に関する実技研修会	加工技術向上に係る研修				
	⑥	コースの整備						
	⑦	フットパス交流推進に係る研修	集落づくり・交流に関する勉強会	地域づくりに係る研修				
	⑧	PRポスター・チラシ作成	フットパス・落花生まつりチラシ作成	フットパス・落花生まつりPRポスター・チラシ作成				
	⑨	岩見沢市農政農業基盤整備課	主事	木村 唯有				
	⑩	JAIいわみざわ農業振興部門	次長	林 真一				
⑪	宮島沼水鳥・湿地センター	主任	牛山 克己					
⑫	北海道改良区水里ネット推進室	室長	高柳 広幹					
⑬	空知農業改良普及センター	普及員	越 浩一					

地域活動支援事業に係る予算要求書

事業実施年度	平成30年度					
総合振興局等名	空知総合振興局					
活動地区名	岩見沢市北村豊正	活動団体名	豊正FAM協議会			
目的(ねらい)	項目(費用)	内容	金額(円)	積算根拠		
①北の大地マルシェ直売事業 生産者組織「北の大地マルシェ」(空き店舗を活用した直売所)を設立し、他地域から多くの人に訪れてもらうとともに、地域住民が集う場所としてのカフェ事業を開業し、地域の活性化を図る。	直売・加工・交流に係る勉強会(使用料及び貸借料)	先進的な直売・加工・消費者交流事例の視察及び現地での意見交換を通じて指導・助言を得る。	120,000	バス借り上げ料 (石狩・空知方面視察40人乗)		
	販売促進に係る資材(エプロン・のぼり等)の導入(需用費)	直売所の販売促進を円滑におこなうため、資材等を導入する。	400,700	需用費 エプロン@7,800円*10枚 のぼり一式@5,600円*20本 伝統野菜の種子一式@4,700円 看板@50,000円*1ヶ ポイントカード@20円*3,000枚 買い物カゴ@900*20ヶ ジャンパー@7,800円*10枚		
	PRポスター・チラシ作成(需用費)	北の大地マルシェ直売所のPRポスター、チラシを作成し、周知を図る。	195,000	需用費 ポスター100部 チラシ3,000部 ポスター(A3)@450円*100部 チラシ(A5)@50円*3,000部		
		小計	715,700			
	②北の大地マルシェ加工事業 直売所に加工設備を併設し「塩ゆで落花生」の加工販売や地場農産物を活かした加工品及びカフェ開設に向けた研究を行う。	加工及び地場農産物を用いた料理講習会(報償費+旅費+需用費)	加工・地場農産物を用いた料理講習会を行い、加工及び料理技術の向上を図る。(講師:札幌市レストランシェフ)	140,000	報償費 14,000円/人*5H*2回 2回/年 旅費(札幌～岩見沢) 1,360円*2*2回	
		農産物等の販売に関する実技研修会(報償費+旅費+需用費)	消費者の関心を引く販売方法に関する実技研修会を行い、販売スキルの向上を図る。(講師:札幌市マネキン協会のスタッフ)	100,000	報償費 5,000円/人*5H*2人*2回 旅費(札幌～岩見沢) 1,360円*2*2人*2回	
			小計	376,320	需用費(食材費)2回 食材費:1,000円/人*30名*2回 材料費:1,000円/人*30名*2回	
		③交流事業 ～フットパス・落花生まつり 従前から実施している交流事業の一層の充実を図り、更なる北村豊正ファンを獲得し、他地域や都市との交流、異業種交流、福祉団体との連携など、複合的な活動を進める。	集落づくり・交流推進に関する勉強会(報償費+旅費)	農村集落の現状と交流等の活動に向けた勉強会を開催し、集落づくりや交流活動のノウハウを習得する。	44,000	報償費 11,000円/人*4H 1回/年 旅費(旭川～岩見沢) 5,000円*1回
					5,000	使用料(会場借り上げ) 5,000円(4H)
			PRチラシ作成(需用費)	フットパス交流会・落花生まつりの開催案内チラシを作成し、周知を図る。	100,000	需用費 チラシ(A5)@100円*500部*2種類
			小計	154,000		
			科目別	815,700	需用費	
				21,320	旅費	
			284,000	報償費		
		125,000	使用料			
合計			1,246,020			

活動計画

団体名		厚床地域農村再生プロジェクトチーム		市町村名		根室市		地区名		厚床		
めざす姿		地域資源を活かし、農商工連携を促進しながら、都市と地域の交流拠点づくりに取り組み、地域の活性化を図る										
No.	活動の内容	平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度		最終目標	適用事業			
		内容	予算額 (千円)	内容	予算額 (千円)	内容	予算額 (千円)					
①	◇厚床地域ビジョン作成に関する取組み ・地域間及び世代間交流人口の増加 ・地域資源(魅力)の確認	地域ビジョン作成 ・防災キャンプ開催 ・自然学習会開催 ・フットパス整備 ・交流会開催 ・地域マップ作成 ・ワークショップ開催		地域ビジョン作成 ・農繁期の活動体制 ・関係機関との連携強化 ・役割分担の確率		地域ビジョン作成	2,000					
		目標(数値・定性) ・地域への活動内容の周知及び理解を得る ・農繁期の活動体制 ・関係機関との連携強化 ・役割分担の確率										
②	◇活動内容の地域への周知及び理解の促進 ・SNS等を活用した情報発信 ・ワークショップ開催											
3年間の活動プロセス	厚床戦略プラン作成に関する取組み	①	防災キャンプ	173,658	1回	防災キャンプ	500	1回				
		①	自然学習会 (巣箱作り、バードウォッチング)		4回	自然学習会 (巣箱作り、バードウォッチング)	50	2回	50	2回		
		①	フットパスコース整備	41,460	1コース	フットパス看板設置	100	1コース				
		①	交流会(パークゴルフ、百人一首など)	0	812回	交流会(パークゴルフ、百人一首、食事会など)	10	2回		10	2回	
		①	ワークショップ	277,489		ワークショップ	189			200	1千部	
		①	ワークショップ			ワークショップ						
		②	SNS等での情報発信			SNS等での情報発信						
		②	SNS等での情報発信			SNS等での情報発信						
関係者等												

中山間ふるさと・水と土保全対策事業

3回(内1回は防災キャンプ)

3回(内1回は防災キャンプ)

3回(内1回は防災キャンプ)

3回(内1回は防災キャンプ)

3回(内1回は防災キャンプ)

3回(内1回は防災キャンプ)

3回(内1回は防災キャンプ)

3回(内1回は防災キャンプ)

3回(内1回は防災キャンプ)

3回(内1回は防災キャンプ)

3回(内1回は防災キャンプ)

3回(内1回は防災キャンプ)

3回(内1回は防災キャンプ)

3回(内1回は防災キャンプ)

3回(内1回は防災キャンプ)

3回(内1回は防災キャンプ)

3回(内1回は防災キャンプ)

3回(内1回は防災キャンプ)

3回(内1回は防災キャンプ)

3回(内1回は防災キャンプ)

地域活動支援事業に係る予算要求書

事業実施年度	平成30年度			
総合振興局等名	根室振興局			
活動地区名	厚床	活動団体名	厚床地域農村再生プロジェクト プロジェクトチーム	
目的(ねらい)	項目(費用)	内容	金額(円)	積算根拠
戦略プラン作成 に向けた地域住 民の意識醸成	報償費	ワークショップ	132,000	◆報償費
	旅費		145,000	11,000円*4hr*3回 ◆旅費(札幌～根室) 航空機,日帰り*3回
			小計	277,000
戦略プラン作成 に向けた地域拠 点の再確認 地域間及び世 代間交流	報償費	防災キャンプ	0	◆報償費
	旅費			11,000円*4hr*2日 5,000円*4hr*2日*4人
			24,050	◆旅費(札幌～根室) JR,1泊2日
	需用費		149,434	◆需用費 食材、資材など
			小計	173,484
地域間及び世 代間交流	使用料及び賃	交流会 ・パークゴルフ		◆使用料
	使用料及び賃			300円*20人
				◆賃借料
				100円*20人
	小計	0		
コース整備を通 じて、地域資源 の再認識及び 地域間交流	需用費	フットパスコース整備	41,040	◆需用費
				草刈機燃料代 10,000円
				長靴 6,804円
				合羽 34,236円
	小計	41,040		
		小計	0	
合計			491,524	
			132,000	報償費
			169,050	旅費
			190,474	需用費
			0	役務費
			0	委託料
			0	使用料及び賃借料
費目内訳			491,524	

別記様式第4号

活動計画

団体名		市町村名	上ノ国町	地区名	上ノ国
めざす姿		<p>・「絹さやえんどう」を活用して、上ノ国町の「食」の魅力を地域内外に発信し、また地産地消を促進することで地域内経済を活発化にして地域振興、産地の維持を図る。</p>			
活 動 の 方 向	No	活動の内容	目標(数値・定性)	解決すべき課題	
	①	町民の「絹さやえんどう」に対する関心を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・食育イベントの開催(年1回) ・「絹さやえんどう」に関係した情報の発信(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に必要な絹さやえんどうの確保。 ・絹さやえんどう消費の行事故。 ・町民の「絹さやえんどう」に対する十分な理解。 	
	②	地元料理店と連携し「絹さやえんどう料理」を開発、定着を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・「絹さやえんどう料理」の開発 ・「絹さやえんどう料理」の定番メニュー化 	<ul style="list-style-type: none"> ・試作、定番メニュー化に必要な絹さやえんどうの確保。 ・地元料理店との「絹さやえんどう料理」の開発、郷土料理化。 ・「絹さやえんどう料理」を町民に対し提供する時期の検討。 	
	③	活動体制を強化する	<ul style="list-style-type: none"> ・活動報告会の開催(年1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者に対し「絹さやえんどう」による地域食文化の充実、地産地消による地域循環経済についての理解。 	
	④	「絹さやえんどう」地域内流通体制を構築する	<ul style="list-style-type: none"> ・「絹さやえんどう」の販売場所の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内販売用「絹さやえんどう」の確保、集荷体制。 ・販売場所の検討。 ・販売単価の設定。 	

3 年 間 の 活 動 プ ロ セ ス	活 動 事 項	関連 No	平成30年度			平成31年度			平成32年度			最 終 目 標	適 用 事 業				
			内 容	予 算 額	年 度 目 標	内 容	予 算 額	年 度 目 標	内 容	予 算 額	年 度 目 標						
														千円	千円	千円	
	町民向けの食 育活動	①	上ノ国絹サヤエンドウ 料理教室の開催	62.71	1回/年 (2月)	上ノ国絹サヤエンドウ 料理教室の開催	100	1回/年 (2月)	上ノ国絹サヤエンドウ 料理教室の開催	100	1回/年 (2月)	町民が「上ノ国＝ 絹」産地である ことの理解→「絹 さやえんどう」の 固定需要確保	中山間ふ るさと・水 と土保全 対策事業 (地域活 動支援事 業)				
			上ノ国産サヤエンドウのPR	2,418	2回/年												
			38周年イベントの開催		1回/年 (3月)												
			「絹さやえんどう料理」 の開催	155.5	5回/年 (8-9月) 2回/年 (10月)	「絹さやえんどう料理」 の開催	255.5	5回/年 (8-9月)	「絹さやえんどう料理」 週間開催	100	1回/年 (8-9月)			「絹さやえんどう 料理」の郷土料 理化			
			さやえんどうスイーツの開発	0	2回/年												
			上ノ国サヤエンドウ料理検討 会の開催	235.08	1回/年 (3月)												
			農業者、関係機関及び 地元商工観光業者との 連携強化	125.5	1回/年 (3月)											持続性のある活 動体制の確立	
			専門家による地域振興 活動に関する助言	100	1回/年 (3月)												
			「絹さやえんどう」地域 内販売の試行			「絹さやえんどう」地域 内販売の試行	100	1回/年 (8-9月)	「絹さやえんどう」地域 内販売の試行	100	1回/年 (8-9月)			「絹さやえんどう」 販売体制の確立			
			代表 大口 勇 連絡先														
農林課農業林業グループ主幹 笠谷 将人 連絡先 0139-55-2311																	
生産施設課調査役 出口 秀樹																	
広域主査(高付加価値化) 深尾 伸一 (作物(稲))																	
関 係 者 等																	
上ノ国町																	
JA新函館厚沢部基幹支店																	
檜山農業改良普及センター																	

地域活動支援事業に係る予算要求書

事業実施年度	平成30年度			
総合振興局等名	檜山振興局			
活動地区名	上ノ国	活動団体名	桧山南部サヤエンドウ生産組合企画班	
目的(ねらい)	項目(費目)	内 容	金 額	積 算 根 拠
・町民向けの食育活動	需用費	上ノ国産サヤエンドウのPR	2,418	ショッピングKOBAYASHI見積もり書
			20,000	イベント料理代
	需用費		50,000	法被代たじまや聞き取り
・町民向けの食育活動		38周年イベントの開催	126,360	レシビ集ヨコノ印刷見積もり書
	報償費		42,000	小西先生、アンジェラ佐藤先生講義代
	旅費		112,250	小西先生、アンジェラ佐藤先生旅費
	委託料		186,000	アンジェラ佐藤先生によるPR費
	使用料及び貸借料		18,400	会場借り上げ代
・「サヤエンドウ料理」の開発、定着				※38周年イベントに集約
・活動体制の強化				
・町民向けの食育活動	報償費		28,000	【道報償費基準】 14,000円×2h 地元パティエの講師料
	需用費	上ノ国サヤエンドウ料理教室	30,000	消耗品費・食材費
	使用料及び貸借料		4,710	1,570円×3h ジョイ・じょぐら(はまる3、調理室)
・「サヤエンドウ料理」の開発、定着	報償費		28,000	【道報償費基準】 14,000円×2h 地元料理人の講師料
・活動体制の強化			50,000	消耗品費・食材費
	需用費	上ノ国サヤエンドウ料理検討会	145,800	【ヨコノ印刷見積】 500部×270円+税
	使用料及び貸借料		11,280	3,760円×3h ジョイ・じょぐら(はまる1~3、調理室)
		小 計	300,208	
合 計				
		08_報償費	56,000	
		09_旅費	0	
		11_需用費	228,218	
		12_役務費	0	
		13_委託料	0	
		14_使用料及び貸借料	15,990	
費 目 計			300,208	

別記様式第 1 号

北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業の地域活動支援事業に係る実施要望調書

総合振興局等名	空知総合振興局空知農業改良普及センター空知南東部支所 専門普及指導員 増井 梨絵	市町村名	由仁町
活動地区名	由仁地区	活動団体名	WEAVE
市町村担当者所属・氏名	由仁町産業振興課農政担当 主査 関澤 和之	関係指導員名	
活動地区の現状及び活動団体の活動状況(実績)			
<p>由仁町は、空知管内の最南端に位置し、総農家数 395 戸、耕地面積 5,840ha で、稲作、畑作、園芸を主体とする農業地帯である。</p> <p>【WEAVE の設立】</p> <p>平成 24 年、普及センターが若手農業女性を対象に開催した農村ゼミナールの参加女性から、「町外から嫁に来たばかりで町内に知人が少ないため、農家の友人を作り情報交換したい。」「地域や農業のことがわからず不安なので、もっと知りたい。」などの意見があったことから、平成 25 年 3 月に若手女性の会を設立した。その後、由仁町の広報で会員を募集し、会員が増加していった。</p> <p>会の目的は、①仲間作り、②地域や農業についての知ること、③②の成果により地域に貢献することで、対象者は由仁町内の 40 歳以下の農業女性とし、年齢制限を設けることでメンバーの流動化を図っている。</p> <p>会名の「WEAVE」は、「編む」、「織る」などの意味で、女性らしく丁寧に活動をしたいという思いが込められている。</p> <p>平成 30 年 6 月現在の会員数は、16 名となっている。</p> <p>【これまでの活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会員お宅訪問 会員相互の家を訪問し、地域について理解を深めた。 2. 視察研修、勉強会 乾燥野菜を製造販売している美唄市つむぎ屋への視察や、農業用語勉強会などを行った。 3. 栽培実習、農産物加工実習 野菜の栽培実習やソーセージ、ポンデケージョ、豆腐等の加工実習を行った。 4. 野菜販売 由仁町でのゆにマルシェや札幌市でのクラシェなどの販売イベントに参加し、自分たちで栽培した野菜を販売した。 5. 食育活動 由仁町三川小学校にて、食育活動を実施した。 6. 乾燥野菜の商品開発 平成 27 年より、自分たちが生産した野菜の有効活用と由仁町の特産品開発を目的として、乾燥野菜の商品開発に取り組んで来た。 視察研修や試作品作りを経て、由仁町のふるさと創造事業を活用して乾燥機の導入を行った。また、平成 29 年に町内関係者を招いて試食検討会を開催し、商品案を作成した。 平成 30 年度夏より、試験販売を開始する予定である。 7. ハロウィンカーニバルの開催 育児中のメンバーが多いことから、地域の子育て支援と消費者交流および野菜直売を目的に、平成 25 年よりゲームや調理実習、野菜直売等を組み合わせた、幅広い世代が楽しめるイベントとして実施している。 			

活動地区及び活動団体の活動における課題

- ・年齢制限を設けているため、組織の維持には新規会員の確保が必要であるとともに、新規に由仁町に嫁ぎ入会した会員が、地域に溶け込み活躍できるようになるための継続的な研修が必要である。
- ・由仁町地域の価値や農的暮らしの魅力を再確認する気づきの場や、それらを発信していくためのスキル習得が必要である。
- ・地域の食材を生かした料理や食文化を継承するために実習の機会が必要である。
- ・特産品として開発した乾燥野菜の試験販売を開始するが、販売拡大に向けてパッケージングの検討や普及のためのPR活動、レシピの開発が必要である。また、衛生管理に関する知識の習得と徹底及び製造工程の効率化も必須である。
- ・ハロウィンカーニバル来場者の満足度を向上し、由仁町の地域や農業の魅力をさらに多くの人に伝えて行くために、開催内容の充実と周知方法の改善が課題である。

地域の活性化に向けた展開方向

- ・由仁町に町外から嫁に来た女性や就農し経営者を目指す女性が、地域の魅力を理解し、地域コミュニティに溶け込み、生き活きと農村生活を送るための素地となるべく、新規会員を募り、継続的に学習や地域貢献の活動を行う。
- ・親世代から地域の食文化を継承するための実習の機会を設ける。
- ・乾燥野菜という調理が簡単な形で野菜を提供することで、規格外野菜の活用と、栄養のある野菜の消費拡大を目指す。
- ・乾燥野菜は、試験販売を通して、若手女性らしいセンスを活かしたパッケージングの改良や販売促進のためのレシピの開発、PR方法の改善等を行う。
- ・乾燥野菜の本格製造に向け、衛生管理に関する知識の習得や製造工程の効率化を進める。
- ・由仁町やそこでの農的暮らしの魅力、由仁産農産物の価値を消費者に発信していくために、町内外での販売活動を行うとともに、そのスキルやセンスを磨く。
- ・ハロウィンカーニバルは、消費者交流や農産物販売の機会とするのみならず、近年高齢化や担い手不足の問題を抱える地域に、たくさんの方が訪れ、子育ての一助となる魅力ある地域づくりにつながるイベントとしていきたい。
- ・上記の活動を通して、地域に仲間を作り、生産活動や地域貢献を通じた新たな生きがいの創造により、由仁町の地域やそこでの生活を豊かにしていきたい。

活動地区（活動団体）に係る概要調書（平成30年6月現在）

活動地区名	由仁地区	活動団体名	WEAVE	
地区（団体）の主な活動歴				
<p>（平成25年3月）発足</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会員お宅訪問 会員相互の家を訪問し、地域について理解を深めた。 2. 視察研修、勉強会 乾燥野菜を製造販売している美唄市つむぎ屋への視察や、農業用語勉強会などを行った。 3. 栽培実習、農産物加工実習 野菜の栽培実習やソーセージ、ポンデケーキ、豆腐等の加工実習を行った。 4. 野菜販売 由仁町でのゆにマルシェや札幌市でのクラシェなどの販売イベントに参加し、自分たちの栽培した野菜を販売した。 5. 食育活動 由仁町三川小学校にて、食育活動を実施した。 6. 乾燥野菜の商品開発 平成27年より、自分たちが生産した野菜の有効活用と由仁町の特産品開発を目的として、乾燥野菜の商品開発に取り組んで来た。 視察研修や試作品作りを経て、由仁町のふるさと創造事業を活用して乾燥機の導入を行った。また、平成29年に町内関係者を招いて試食検討会を開催し、商品案を作成した。 7. ハロウィンカーニバルの開催 育児中のメンバーが多いことから、地域の子育て支援と消費者交流および野菜直売を目的に、平成25年よりゲームや調理実習、野菜直売等を組み合わせた、幅広い世代が楽しめるイベントとして実施した。 				
代表者の活動歴等		WEAVE 代表 大塚 恵梨菜		
平成26年以前	札幌市にてスポーツインストラクターとして勤務 スキー、体操、水泳、リトミック等を指導			
平成27年	結婚を機に由仁町に転入			
平成28年	WEAVE 入会			
平成30年	WEAVE 代表			
平成30年	由仁町スポーツ推進委員			
地区（団体）の構成員に関わる事項				
氏名	年齢	性別	職業	特記事項
大塚 恵梨菜	33	女	農業	代表
小澤 尚子	38	女	農業	副代表
蓑島 亜里紗	35	女	農業	副代表
安川 紗千枝	33	女	農業	会計

別記様式第2号

地域活動支援事業に係る予算要求書

事業実施年度	平成30年度			
総合振興局等名	空知総合振興局空知農業改良普及センター空知南東部支所			
活動地区名	由仁地区	活動団体名	WEAVE	
目的(ねらい)	項目(費目)	内容	金額	積算根拠
①学習・グループ活動事業 町外から嫁に来た女性が、地域の魅力を認識し、地域に溶け込むための活動を行うとともに、地域の食の伝統の継承を目指す。	直売・加工・交流に係る勉強会 (使用料及び貸借料)	先進的な直売・加工・消費者交流事例の視察及び現地での意見交換を通じて指導・助言を得る。	160,000円	バス借り上げ料 (十勝方面)
	農産物加工実習 (報償費) (需用費)	実習を通して、豆腐、味噌、漬け物等の地域に根付いた農産物加工技術を身につける。	35,000円	講師謝礼 5,000円×4hr 材料費 15名×1,000円
②乾燥野菜加工販売事業 生産した野菜の有効活用と由仁町の特産品として開発した乾燥野菜の試験販売に取り組むとともに、商品の改善や販売促進のための取り組みを行う。	販売促進にかかる資材費(パッケージング・ラベル) (需要費)	乾燥野菜の販売促進を円滑に行うための資材を導入する。	120,000円	パッケージング 800ヶ×100円 表示ラベル 800枚×50円
	販売促進にかかる出店料及び運搬料 (使用料及び貸借料) (役務費)	直売イベントに参加し、乾燥野菜の販売および由仁町のPRと消費者交流を行う	30,000円	クラシェ(札幌市チカホ)出店料 10,000円 運搬料一式 20,000円
	レシピ印刷作成 (需用費)	乾燥野菜を使ったレシピを開発し、配布する。	60,000円	レシピ集印刷 1,000部×60円
③交流事業 町内外から多くの人に訪れてもらい、消費者との交流や魅力ある地域づくりにつながるイベントとしてハロウィンカーニバルを開催する。	ハロウィンカーニバルPRポスター・チラシ作成 (需用費)	ハロウィンカーニバルのPRポスターとチラシを作成し、周知を図る。	60,000円	ポスター 60部×500円 チラシ 500部×60円
費目内訳			20,000円 255,000円 20,000円 170,000円	報償費 需用費 役務費 使用量及び貸借料
合計			465,000円	

別記様式第2号

地域活動支援事業に係る予算要求書（普及センター経費）

事業実施年度	平成30年度			
総合振興局等名	空知総合振興局空知農業改良普及センター空知南東部支所			
活動地区名	由仁地区	活動団体名	WEAVE	
目的(ねらい)	項目(費目)	内 容	金 額	積算根拠
WEAVE 活動支援	資料印刷 (需用費)	活動支援のための資料 を印刷する。	15,000円	トナー代等 (リコーIPS10 SP6310用) トナー1本(リサイ クル) 10,610円×1.08 =11,459円
	巡回活動支援 (需用費)	WEAVE 会員の栽培指導、 活動準備支援、打合せ 等の巡回を行う。	53,600円	ガソリン代等 134円/リットル×50リットル (8～3月分)
	販売促進支援及 び直売・加工・交 流に係る勉強会 支援 (旅費)	札幌での直売活動を支 援する。 先進地視察に同行し、 研修を支援する。	14,000円	札幌往復×2日 4,000円 十勝往復(宿泊) 10,000円
費目内訳			14,000円 68,600円	旅費 需用費
合 計			82,600円	